

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

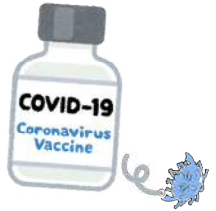
令和3年5月17日（月）～令和3年5月23日（日）〔令和3年第20週〕の感染症発生状況

第20週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)RSウイルス感染症 3)突発性発しんでした。

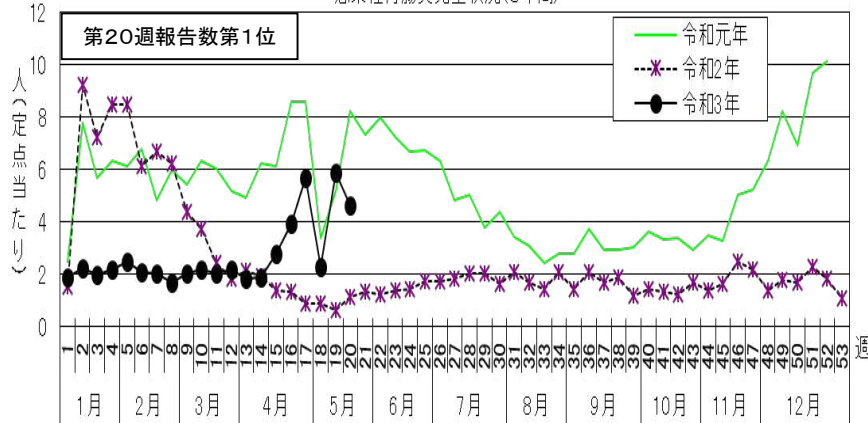
感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.60人と前週（5.89人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

RSウイルス感染症の定点当たり患者報告数は2.37人と前週（0.91人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

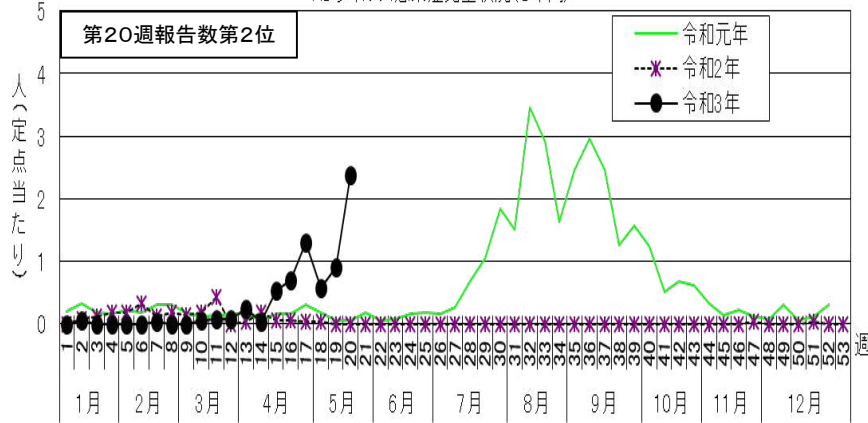
突発性発しんの定点当たり患者報告数は0.83人と前週（0.43人）から増加し、例年より高いレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



RSウイルス感染症発生状況(3年間)



## 国内で新たに2社の新型コロナワクチンが承認されました！

新型コロナワクチンは、国内ではこれまでのファイザー社に加え、令和3年5月21日に新たにモデルナ社及びアストラゼネカ社のワクチンが承認されました。モデルナ社のワクチンは新型コロナウイルスの遺伝情報（mRNA）の一部を脂質の膜で包んだmRNAワクチンで、ファイザー社と同じ種類ですが、アストラゼネカ社のワクチンはヒトに対して病原性のないウイルスをベクター（運び屋）として、新型コロナウイルスの遺伝子の一部を組み込んだベクターワクチンです。いずれも2回接種で、同じワクチンを使用する必要がありますが、接種間隔や接種対象者などが異なるため、事前に確認しましょう。

また、接種した方の発症予防効果は高いといわれていますが、他の方への感染力については不明ですので、引き続き感染対策を徹底しましょう。

### 国内で承認されている新型コロナワクチンの比較

	ファイザー社	モデルナ社	アストラゼネカ社
ワクチンの種類	mRNAワクチン	mRNAワクチン	ウイルスベクターワクチン
接種対象者	16歳以上	18歳以上	未定
接種方法		筋肉注射	
接種回数		2回接種	
接種間隔	3週間	4週間	4～12週間
有効性	約95%	約94%	約70%

### 新型コロナワクチン接種から免疫獲得までの仕組み

